

大麦特報 -第2号-

令和7年2月
富山農林振興センター
富山市農業協同組合

雪解け水や雨水などが停滞することで、湿害が発生して葉色が淡くなり、生育量が不足して収量の減少につながります。
ほ場の状況をこまめに見回り、排水につとめましょう。

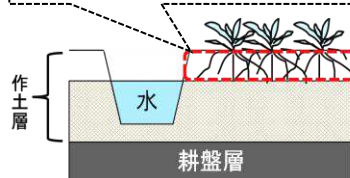
1 排水溝の点検・手直し

大麦は湿害に弱く、ほ場内に水が停滞すると、湿害により根の伸長が阻害されるため、生育不良になり、出穂後の登熟も悪くなります。ほ場内の停滞水を速やかに排水するため、「排水溝の手直し」や「排水口への連結」を徹底しましょう。

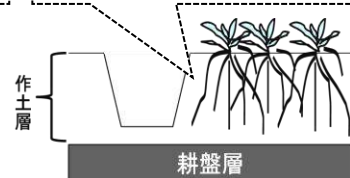
湿害を受けると、根が張れず養分が吸収できないため、葉色が淡くなる



停滞水により根域が制限され、根の伸長を阻害 ×



停滞水がないと根が伸長し、根張りが良好 ○



排水不良田

排水良好田

図 排水の良否と根の伸長のイメージ

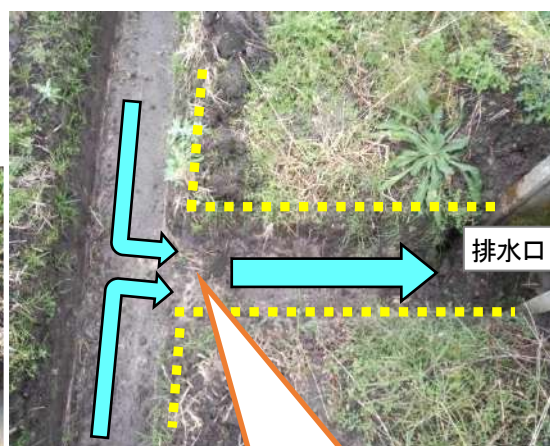
排水溝の崩れを直し、溝を連結し、速やかにほ場外へ排水する



溝が崩れている



溝に連結されていない



深く掘り下げた排水口へ溝を確実につなぐ！
ほ場外へ排水する！！

2 消雪後の追肥(分施の場合のみ)

時期 3月上旬（消雪後、速やかに）

施用量 硫安 20kg/10a

※条間の土が見えないような茎数が多いほ場は、施用量を減らしましょう。

※大麦専用肥効調節型肥料(エコ大麦 44号)を施用したほ場では、原則として追肥は不要（排水溝を手直しても極端に葉色が淡い場合は、農協や農林振興センターに相談ください）